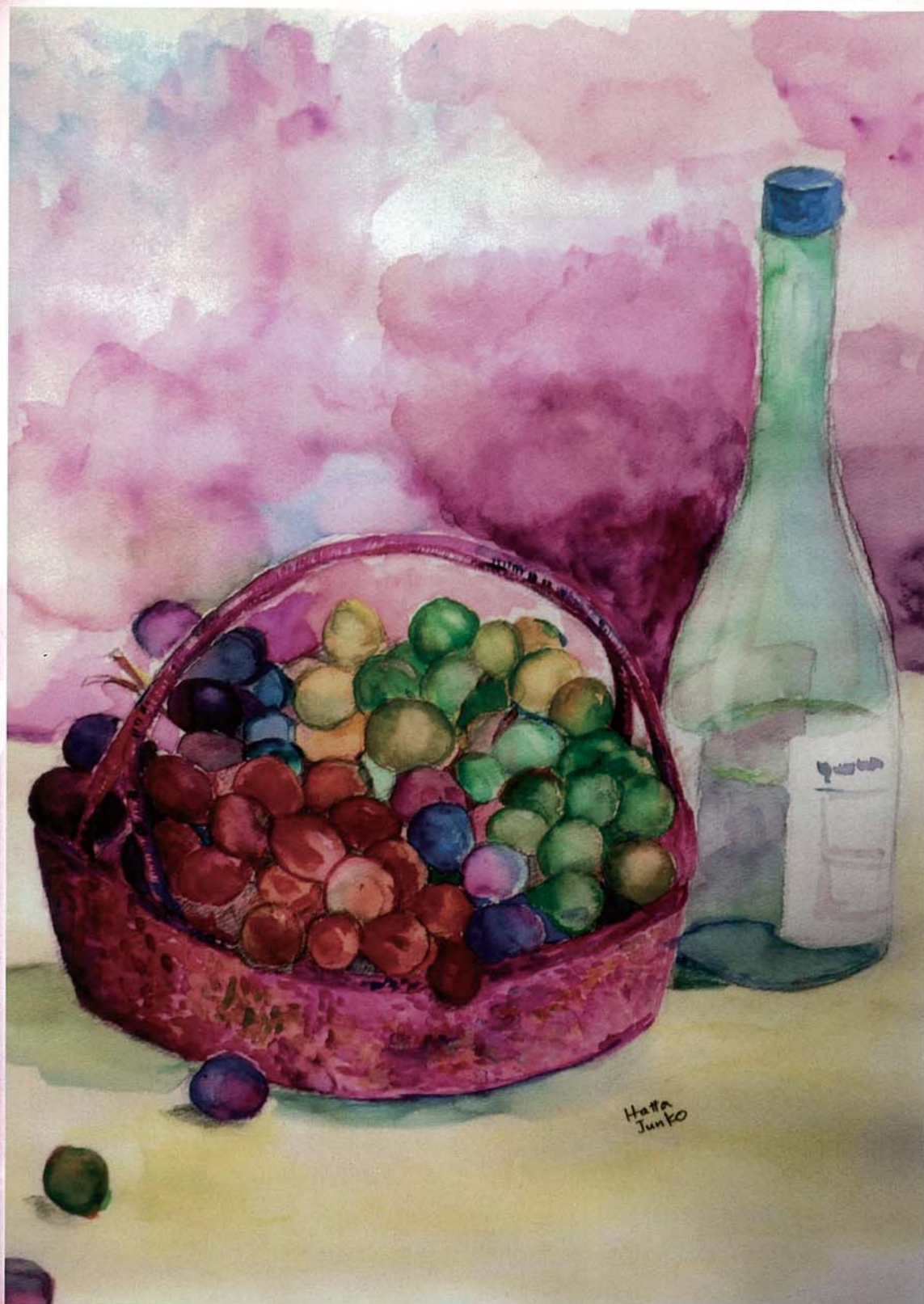


# The Alumnae News of ノートルダム清心 同窓会会報 ND Seishin School 50

特集 心を清くし 愛の人であれ



八田潤子 (28期 石井)



## ごあいさつ

同窓会会長 岩崎恵子

同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。それぞれの貴女の場所、美しく花開いていらつしやることでしょうか。

ここ己斐の丘にも新緑が溢れ、学園祭の準備に余念がありません。今年も二月二十九日に同窓会入会式が行なわれ、六十一期生、百八十三人を迎えることが出来ました。十八歳の門出にエールを送り、これからの人生が平安と幸福に満たされますようにと念じました。

今年は、新講堂など校舎建築の造成工事中のため、裏山、グラウンドなど随分様子が違ってきています。中庭からは樹々に囲まれ市街地など見えませんが、今は近くの音楽高校もすぐそこに見えますし、市内の眺望も開け

## 学校の近況

名誉会長 今崎成志  
学校長

学校では二月十日、音楽会・美術書道展を催しました。同窓生の皆様にも参加していただき、沢山のお客様に來場していただくこ

ています。グラウンドも約五メートル高くなる予定で造成工事が進んでいます。そのため今迄、中庭にうどんや植木市を設置していましたが、使用できないということでクビリホール(旧短大・高校々舎)に移るようになりました。また、同じクビリホール内に「おもてなしの部屋」として、麦茶サービス、軽食、コーヒールを準備しております。

同窓会室や、バザー会場の場所は昨年迄と同じです。(大会議室)今年五月二十八日(土)二十九日(日)の二日間です。是非足を運んでみてください。

新講堂など校舎建設に関しましてはご支援をお願いしておりますが、大勢の方々がたくさんのご寄付をくださいましたこと、有難く心よりお礼申し上げます。皆様の母校・後輩を思ってください。心が熱く伝わってきます。本当にありがとうございます。

とできました。

昨年七月に始まった講堂等校舎建設の造成工事も順調に進み、グラウンド、裏山、谷の方もずいぶん様子が変わっています。同窓生の皆様が学校の発展あるいは後輩の生徒たちのために、たくさんのご寄付をしてくださっていること、紙面を借りて教職員一同心からお礼申し上げます。皆様方の暖かいお気持ちを皆でしっかり受け止め、「心を清くし 愛の人であれ」という共に学んだ教育理念をこれからも大切に引き継ぎ、今の社会が失いかけている「人の

同封のお便りにも書きました通り、もう少し重ねてご支援をいただきたいところですが、再度お願い申し上げます。更なる母校の発展のため、後輩達のために、ご協力をくださいませんか。とりまぎれて時が過ぎた方、もう一度上積みしてくださる方、皆様の暖かいご支援が集まることで、来秋頃には新校舎が立つに完成し、講堂には素敵な緞帳が輝いていることと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

「心を清くし、愛の人であれ」これは清心の校訓です。しかし私は漠然としが意味をとらえていませんでした。この度、会報の編集委員さん達と、シスター小谷の話を聞く機会に恵まれました。「心を清くし」とは、もちろん文字通りの意味もありますが、自身の進化、より高みを目指す意味も大きいのです。「愛の人であれ」の「愛」とは隣人愛のこと。

命の尊さ」を大切にできる教育を展開していかなければならないと心を引き締めています。

経済成長を最優先に考える社会は今、気候変動、貧困、紛争など解決しなければならぬ重い課題を突きつけられています。文明のもたらす便利さは人と人との「関係性の喪失」という問題も抱えています。こうした過渡期中で、二十世紀の喜劇王といわれたチャップリンが、映画「独裁者」の中で「私たちは皆、互いに助け合いたいと望んでいる。人間とはそういうものだ。他者の不幸によつ

相手の立場、心情、事情を推し量り自分がその立場に立つたらどうするか、相手の心に寄り添い受け止めること。それは「ゆるす」ということにつながります。恩赦でもなく、許可でもなくひらがなの「ゆるす」ことが大切です。今、世界はその対極にあるように思っています。

シスターのお話は胸にしみいるものでした。在校中に受けた教育は同窓生の皆様の胸深くに息づいていることと思います。同じ丘で学んだ同窓生は一人を超えませんでした。母校で学んだ誇りを胸に同窓生の輪・和を拡げましょう。

最後になりましたが、関東支部では二十期の本多さんから二十五期の藤原さんに支部長の交代がありました。本多さんは長年頑張ってくださいました。有難うございました。藤原さんよろしくお願ひします。

てではなく、互いの幸福によつて生きたいのだ。」と語った言葉が、これから世界の人々が目指さなければいけない方向を示してくれているのではないのでしょうか。社会的に弱い人々にしわ寄せがいく社会であつてはなりません。そのためにも、家族、学校、地域といった身近な生活から互いに相手を思いやれる環境を育んでいけるように、ノートルダムファミリーの二員として取り組んでいかねばならないと強く願っています。

## 表紙のことば

八田潤子(二十八期石井)

この作品は「ぶどうと日本酒のビン」をモチーフとして透明水彩で描きました。暖かく綺麗な色の絵に仕上がるように心がけました。

毎回「なでしこの会展」では、皆さんの素敵な作品から刺激を受けます。

社河内先生の講評は、いつも勉強になります。

夢中になつて絵を描いていると、大好きだった美術の授業と部活を思いだします。今でも清心と繋がっている事、同窓生との出会い、感謝でいっぱいです。

## 個人情報取り扱いについて

登録されている個人情報は、同窓会からの案内・会報発送や名簿作成に利用しますが、本人の同意がある時及び会長が必要と認めた時以外は開示しません。

ただし、各期委員からの同期会開催を目的とした住所シール、名簿の発行要請は従来通り受け付けます。



# 第六十回 同窓会総会

日時 二〇一五年八月二日(日)  
場所 リーガロイヤルホテル広島  
幹事 三十八期 四十八期

昨年八月二日(日)、第六十回同窓会総会が開催されました。

第一部は「マザー・ジュリーの歌」から始まり、続いて岩崎会長から「今年は六十周年という記念の年を迎えることができました。皆様のバザーや講堂建設へのご寄付など多大なご支援をいただき、母校に対する思いを感じることができ、大変感謝しております」との挨拶がありました。

続いて今崎校長先生より「同窓会の皆様には、日頃より在校生へのご支援をいただきありがとうございます。講堂建設におきましては、当初の予定よりは一年半から二年の遅れをきたしましたが、現在は順調に建設が進んでおります。昨今、ＩＴ化が進み便利な世の中になりましたが、人と人との関係を大切にし、自分の頭を使って動けるような人間になることが欠けてはならないことだと同窓生の皆様からも教えられ、これからも引き継いでいこうと考えております。これからもどうぞよろしく願います」とのご挨拶がありました。

引き続き永年勤続の先生方の表彰が行われ、先生方を代表さ

れ勤続三十年の神垣先生よりご挨拶があり、第一部が閉会しました。

第二部は四十七期で、女優・映画プロデューサー・監督の三役をこなす存在として脚光を浴びている杉野希妃さんの講演が行われました。

中学二年生の時に演劇部に入部したことにより、演劇の道に目覚めたこと。

清心卒業後、女優として活躍されていましたが、オーディションを待つだけではなく、自分から発信したいと思うようになり、映画プロデューサー、監督と活躍の場を広げていくことになったこと。

そして、映画作品の解説や資金面の調達もご自分でされている苦労話をされました。

また、映画の世界はまだ男性社会であるが、清心で培われた男性に頼らない自立心で乗り切っ



てこれたことなどのお話もありました。

第三部は恩師を囲んでの歓談と昼食で始まりました。その中で、今回の総会では「赤いものを身につける」というドレスコードが設定されており、参加者の投票により素敵な赤い着物で参加された同窓生がベストドレッサーを受賞されました。

続いて、門野先生の指揮による同窓会コーラスの合唱が行われました。

このように第六十回同窓会総会は盛会の中、最後に出席者全員で校歌を斉唱し、閉会となりました。



ました。

最後になりましたが、幹事の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。



## 同窓会総会のご案内

平成二十八年同窓会総会を次のとおり開催します。

日時：平成二十八年

七月三十一日(日)

午前十二時から午後二時

場所：ANAクラウンプラザホテル広島

(旧全日空ホテル)

広島市中区中町7-20

TEL 082(241)1111

詳細は最後のページをご覧ください。

## 学園関係物故者

### 慰霊祭ミサのお知らせ

毎年十月三十一日(三十一日)が日曜の場合は三十日、体育館にて学園関係物故者慰霊祭ミサが行われます。

同窓会本部にご連絡いただいている同窓生の物故者の慰霊も一緒にしていただいております。

## クリスマスミサのお知らせ

毎年十二月二十四日十六時より、学校の講堂でクリスマスミサを行っています。ミサ後は食堂で茶話会も開かれます。

二〇一五年は、イエズス会・長束修道院の塩谷神父様によるミサが行われました。

どなたでもご参加いただけますので、ぜひお越しください。

ご一緒に主の御降誕をお祝いいたしましょう。



# 永年勤続表彰おめでとうございます



神垣しおり先生  
30年(社会)

この度は、同窓会より勤続三十年の表彰を賜り、誠にありがとうございます。約三十数年もの月日を素晴らしい環境の下、奉職させていただいているこの恵みに感謝の気持ちで一杯です。



西川 正博先生  
30年(国語)

このたびは、貴会より永年勤続三十年の表彰を頂戴し謹んで感謝申し上げます。馬齢を重ねた実感の強い昨今ですが、そのことも含め、自身の道のりを再考する機会を得たように思ひ、感慨も新たにしています。



松本 茂樹先生  
20年(数学)

勤続十年から十年たつわけですが、あのころはまだ少なかつた、自分より年下の保護者が増えてきました。それだけ年をとったと言うことですが、それを思う十年前は今よりもまだしも若さがあつたのだなとしみじみ感じました。



山田まゆみ先生  
10年(数学)

このたびは勤続表彰いただきましてありがとうございます。皆様に支えていただけてまいりました。感謝と幸せを感じています。復職した時も、それから十年経った今も、時代の移り変わりに感慨深いものがあります。だからこそ日々を大切に、心を込めた行いを重ねて行きたいと思っています。



高橋 真理先生  
10年(社会)

この度は、同窓会の皆様方より勤続十年を表彰していただき、ありがとうございます。多くの方々に支えられて今日があることを改めて実感しております。周囲からいただいたご恩に報いるためにも、これからより一層、日々の一つ一つの出会いを大切にしつつ、微力ながら学校の発展のために尽くしてまいりたいと思っております。今後とも、皆様方のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。御礼のご挨拶とさせていただきます。



大平 哲也先生  
20年(数学)

このたびは、同窓会から格別のご高配を賜り、有り難うございます。ここまで続けて来られましたのは、卒業生の皆様、特に四十期代の皆様のおかげです。当時は上手くはない教科指導、経験の無いクラブの顧問等ととても教師とはいえない状況でしたが、生徒たちに助けられ教えられる、生徒たちと共に成長してきました。当時の生徒たちには本当に感謝しています。今後は立派な卒業生を送り出せるよう、日々精進して参ります。



木場 篤先生  
10年(社会)

このたびは、永年勤続表彰を賜りましたことに対し、心よりお礼申し上げます。十年が経過した現在でも、清心という場所で、周りの方々に支えられながら、そして生徒とのかかわりを通じて、「清心の教員にならせてもらっている」という実感を抱えながらの日々です。今回の表彰を機に、さらに決意を新たにして、一層の努力を積み重ねていかなければならないと、身の引き締まる思いです。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

約二百年以上前、大きな困難な状況の中でも微笑みを忘れず、女子教育を切り開いていかれた聖ジュリーの生き方を知ったときの衝撃や、凛としたシスター、諸先生方、諸先輩方のお姿は眩しく、今も心に残っております。ご縁あって、社会科教員として母校に戻り、十年前からは宗教科も合わせて担当し、同窓生の皆様に教えられ、励まされ、ここまで辿りつきました。昨年、創立期を支えてこられたシスター・メリーや学年、クラブなどでも大変お世話になった樋口先生が天国に召され、諸先生方の偉業の重みと同時に、伝統を受け継ぎつつ、時代を見据えた教育の責任を改めて感じております。

この三十年間の時の早さを実感しながら、今後も日々精進する所存です。皆様のご多幸、同窓会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。





## お元気ですか 多賀俊介先生



皆さんお元気ですか。私は二〇一〇年に定年を迎え、生徒や後輩の先生に迷惑かけてはいけない、立つ鳥跡を濁さずの気持ちでしたが、コミュニケーション演習担当がいらないなどで二〇一四年春まで非常勤講師を務めていました。定年退職時に第二の人生としての目標を立てました。①これまでと引き続き人権・平和の活動を続ける②フィールドワーク大好きな地理教員だったので旅行業にチャレンジする③中学生頃からの夢であった世界一周をするなどです。目標①実現のための一つとして、平和記念資料館のヒロシマピースボランティアになりました。それが縁で、同じ志を持つ多くの清心卒業生に出会いました。ボランティアの先輩、同僚、平和記念資料館や平和文化

センターに勤務しているメンバー、別グループで清心の保護者と平和公園ガイドをしている人、東京の学校の平和学習引率先生としてなど。共に活動できることをとてもうれしく思っています。目標②の実現のため旅行業の国家試験にチャレンジ。久しぶりの受験生となり、二年目に運良く合格。旅行代理業を始めたいです。一番の目標は、もちろん戦争・平和に関するオリジナルツアーの企画です。これまで何度か企画し積み重ねています。目標③は、二〇一四年秋にピースボートに乗船し、約三ヶ月の充実した世界一周を実現できました。先日、ある大学からの依頼で、原爆に関する講義を行いました。始業チャイムが鳴ると瞑想する私を、大学生は不思議そうでした。ツアーやボランティアガイドの時には自然と「ありがたうございました!」の声が出てきます。約四十年の清心生活は私の身体にしみこんでいるようです。皆さんお元気で。今を大切にしたいですね。

## 関東支部だより

三十五期 橋本純子(真木)

平成二十七年六月二十八日、港区西麻布の「中国飯店」にて関東支部同窓会を開催しました。当日は、幹事期の三十五期が在学中に大変お世話になりました田口普美先生と緒形隆之先生をお迎えし、一期から五十期まで八十七名が参加しました。岩崎会長から開会のご挨拶をいただき、五期の境さんに乾杯のご発声をお願いした後「マザージュリーの歌」をフルコーラスで歌うと、一瞬で制服を着ていた頃に戻り、美味しい食事と楽しいおしゃべりが始まりまし

## 関西支部だより

三十三期 堀本真由美(松山)

平成二十七年十月十八日、神戸のホテルクラウンパレスで関西支部同窓会を行いました。畑野武司先生、長戸暢子先生、岩崎恵子会長をお招きし、洋書を並べた木製の飾り棚が壁の一面を占める素敵な部屋に、同窓生を併せて三十二名が集いました。

長戸先生には、歴代の体育科の先生方の変遷や、生活指導のご経験から、制服も制靴も変わった現在の清心生の様子をお聞きしました。畑野先生は、円卓か

しいおしゃべりが始まりました。緒形先生は懐かしい体育祭(着付け競争)のビデオをご用意してくださっており、田口先生からは懐かしい先生方の近況を伺えました。歓談の際には、タクラ先生が作成されたスライドを上映しました。素晴らしい映像に、自分達の青春時代を重ね合わせることができ、会場は笑顔と感動に包まれました。楽しい時間はまたたく間に過ぎ、関東支部長の藤原さんに閉会のご挨拶をしていただき、写真撮影を行なって無事おひらきとなりました。今回の同窓会を機に幹事期の三十五期は再び繋がることができました。関東支部同

ら会場前方の司会者用演壇に移って、ご自身の日々の様子をお話されました。机の端を両手で支えながら、前傾姿勢で時々右手を振り上げてお話される様子は、現役時代の漢文の授業を受けているようでした。

参加者の近況報告では、仕事やPTAでの活躍ぶりに感嘆の声が上がる一方で、仕事にブツツンきて、とか子供の成長が心配で、など、共感してうなずくようなこともありました。

最後は録音されたピアノ伴奏に合わせて校歌斉唱。ぶっつけ本番にも関わらず女声三部合唱になっていたのですが、如何せんキーが高く、最後の部分は悲

窓会がこれからも続いていくことを願っています。



〈関東支部連絡先〉 関東支部長 25期 藤原泰江(城田)  
TEL: 03-6750-8277  
関東支部ブログ <http://ndkanto.blog.fc2.com>  
※次回の関東支部会は 2016年6月26日(日)渋谷レガートの予定です。



〈関西支部連絡先〉 関西支部長 14期 居藤信枝(大越)  
TEL: 0798-67-0063  
※次回の関西支部会は 2016年10月23日(日)神戸の予定です。

鳴に近かったかも。音楽に精通されたどなたかに、キーを下げたバージョンを作っていただけたら、と思いました。



教職員物故者名簿

第50号という節目のこの会報にてこれまでに亡くなられた先生方のお名前を掲載し、生前清心を支えてくださったことへの感謝と敬意にかえさせていただきます。

皆さまのご冥福をお祈りいたします。

名 前	所 属	没 年 月
シスターローズキャサリン	初代校長	1956年 1月
シスターメリーコスカ	初代学園長	1961年 4月
シスターエーメジュリー		1963年 8月
高野 穂一	事務	
筑瀬由太郎	美術	
横川 廣美	理科	1961年 6月
野崎 誠司	数学	1967年 8月
高橋 弥一	英語	1968年 11月
伊藤 賀清	保健・体育	1971年 2月
池田 幾子	事務	1972年 5月
シスターマリーイグネシス		1976年 7月
シスターマリーセント・ウィリアム		1980年 5月
山辺 貞	国語	1982年 9月
シスターマギユリット・マリー		1968年 1月
シスターマリー・スキャンロン	第三代校長	1988年 4月
奥田 貞安	英語	1990年 1月
伊藤 隆一	事務	1991年 7月
池田 卓一	事務	1992年 3月
山下美代子	数学	1994年 6月
加来 清子	家庭科	
小竹千代子	国語	1994年 9月
三戸 省三	社会	1995年 4月
鷹村 権	理科	1996年 12月
安武 昭三	事務	2000年 6月
木村 キヨ	音楽	2002年 8月
八谷 幸	事務	2003年 9月
シスターモニカ辻 海松子	第四代校長	2004年 1月
河田 巖	事務	2004年 10月
松浦 千栄	国語	2004年 12月
松村 敏則	理科	2005年 6月
シスターアンセラ高橋 八重	家庭科	2005年 9月
佐伯 金吾	事務	2006年 9月
西原 武	数学	2008年 6月
シスターメリーキャサリン森 清子	事務	2008年 6月
山本寿恵子	国語	2010年 8月
シスターアンナ杉原 富子		2010年 12月
小田 清子	事務	2011年 6月
シスターマリー・イマキュレ金子 桂子	英語	2014年 2月
新宅 美弥子	数学	2014年 3月
塚田 和子	国語	2014年 4月
佐々木信昭	社会	2014年 5月
シスターメリー・コネリー	英語	2015年 6月
樋口 賀子	保健体育	2015年 7月

特集

心を清くし  
愛の人であれ



昨今の女性の社会進出はめざましく、ライフスタイルは多様化しています。ノートルダム清心学園のシスター渡辺和子理事長の著作「置かれた場所で咲きなさい」もベストセラーとなるなど、ノートルダム清心中・高等学校の卒業生としてあらためて学生時代に受けた教育への関心が高まります。現在の私たちの原点は何か。受け継いでいくべきものとは。同校のシスター小谷恭子・前校長（七十七歳）にインタビューし、多感な六年間を清心で過ごした意義を考えました。

—教育理念「心を清くし、愛の人であれ」に込められた意味

このモットーは、（第四代校長だった）シスター・モニカが創立者マザー・ジュリーの精神

—どんなふうに社会に役立ってほしいですか

社会は多くの人で成り立っているから、その人たちと一緒に働くことのできる人になってほしいと思う。そこにどかんと腰を据えるのではなく、自分の精神を高めながら仕事の能率や取り組み方をより良くしていく意識を持ってほしい。人を頼るんじゃなくて。余談になりますが、広島では運動会の時にテン

—世界的に混沌とした時代ですが、カトリックの精神を教育に生かす意義は何でしょうか

「ゆるし」の精神がもうちょっとあったほうがいい。人間は弱いものだし、過ちを犯すし、ひとりで頑張ってもできないことはある。だから、みんなもう少しお互いにゆるし合うことが大切ではないでしょうか。受け入れられる心の広さが必要です。例えば、ローマに行くときジブシーがいつばいいるんですよ。うっかりしていると、かばんから財布を盗まれたりする。盗みをやらないとは言わないけど、それがあることを認め、理解する。自分がもしその立場だったらやったかもしれない、というような心の持ち方を心掛けたいですね。

—広島清心の伝統とは

「心を清くし、愛の人であれ」に尽きます。いくつになっても、言う本人がそうでないといけませんね。

【プロフィール】

シスター小谷恭子

こたに きょうこ

ノートルダム清心女子大学文学部英文学科卒。和歌山信愛女子高教諭や新潟清心女子高校長など

—宗教の授業を受け、ミサやクリスマス行事に参加するなど、入学して初めての経験に驚くこともありました。教育者としてどのように役立つかとお考えですか

初めのころは、キリスト教を理解する人を増やす助けだと考えていた。だが、ヨーロッパなど世界の多くの国では自分の生き方や考え方の根本を聖書に置いている。生活のどこかにあるわけですね。聖書を基に生きている人たちの理解を深めるといいう意味があると考えています。国際化が進み、その社会に入っていく時、なぜこの人はこんなこと言うんだろうと思わないように。例えば、文学作品を読んでも聖書が分からないと違和感を感じることがあるでしょう。だから、知っておいてほしい。

—中高一貫の女子教育のメリットは

異性の前で本心が出せる人は少ないんじゃないかなと思う。同性だと割に平気じゃないです

か。そういうふうに自分を出し切り、本心が素直に出せる環境が生徒に一度や二度あってもいいんじゃないでしょうか。社会に出たら必ず男女一緒だから。異性の目を気にせずに自由に考える機会を持つことで、自主性やその人らしさが出てきやすくなる。

—女子教育という面で特に注意されていたことはありますか

別段ないけれど、駅が近い階段がいっぱいあるので、スカートの短いのは気になりました。

—卒業生に会ったり、卒業後の活躍に触れたりして「清心らしさ」を感じる点は

相手の置かれている立場を上手に受け止めて付き合いができること。卒業し、家庭を持って、子育てを経験するとさらにその思いが深くなりますね。六年のうちに知らずと身について、何か考えるときもそれに反しないようなやり方になっているのではありませんか。だから卒業生は似ている。信用できるというか、安心するというか。

長を務めた。現在は、東広島市の修道院で暮らす





# 2015 年 学園祭バザー

2015年5月23日(土)・24日(日)、「N!」  
をテーマに学園祭が行われ、同窓会バザーも  
盛大に行うことができました。お忙しい中、  
快くお手伝いくださった同窓生の皆様と、会  
場へお出かけくださった多くの方々に心より  
感謝申し上げます。

次のバザーは

5月28日(土)・29日(日)です。

皆様のお越しをお待ちしています。



## 中華そば

40.42.44.45.49.51.53



## うどん

36.37.39.

41.43.46.47.52.57.59



## 寄贈品販売

17.18.19.20



## 植木

38.48.58

## フルーツケーキ

21.22.23.24.25.26.27.30



## クッキー

28.29.31.32.33.34.35



## マイショップ コーナー

14.15.16



## お茶

50.60

## なでしこの会 なでしこ医会

お手伝いありがとうございました。○印が責任期です。

## マイショップ 出店のご案内

バザーにご自分のお店を出してみませんか? 日頃仕事や趣味で手  
作りされている作品にご自分で値付けして販売し、売り上げの一  
部を同窓会にご寄付いただいています。





## 同窓生の活動

## なでしこの会

第三十二回なでしこの会展、ご来場ありがとうございました。三十一年以上続いている展覧会、メンバーも増え、毎回、様々な分野で活躍している同窓生に会えるのが、楽しみです。今年は会場で、ワークショップを開催して、ブローチを作りました。なでしこの会が、作品を通して、多くの同窓生の日常にふれ、支えあい、豊かな場となっていました。学生時代の思い出を語り合うひととき、幸せを感じています。今年もよろしくお願ひします。



連絡先 渡辺紀久子(二十三期鎌田)

TEL 090(1338)5347

## ユリア会

例年、春分の日前後にカトリック信者同窓生の集い「ユリア会」を行っています。どうぞお気軽にお越しください。

連絡先 シスター中村彩子

ノートルダム修道院

TEL 082(272)7603

## 清心なでしこ医会

平成十三年に発足した同窓医師の会です。四月に総会を開き、会員の親睦をはかっています。毎年学園祭で骨塩測定・後輩在校生の健診や医学的知識を深める講演などの活動をしています。現在会員数は、百五十一人です。

昨年は二十九期広島県西部認知症疾患医療センター長 井門ゆかり先生に、認知症のトレンドと治療・井門式簡易認知症スクリーニングICIS・レビー小体型認知症について講演していただきました。予備軍を含めると八百万人に達するといわれる認知症患者に、医師はどのような治療や生活支援・予防ができるか重い課題を、わかりやすく説明いただき楽しく学びました。同窓会の皆様にも、ぜひ先生の講演を聞いていただきたいと思ひました。

今年は二十一期広島大学医学部大学院医歯薬保健学研究疫学・疾病制御学教授田中純子先生に肝炎ウィルス・疫学と最新の話題について講演していただきました。



会員募集中です。同窓医師の皆様、入会をお待ちしております。

連絡先 なでしこ医会

Email: nadeshiko\_ikaikai@kde.biglobe.ne.jp

## 料理教室

十一月に行われた料理教室では、今年も岩崎会長を講師に迎え四品の素敵な料理を教えてくださいました。

鶏むね肉のきのこ巻きは色鮮やかな春菊あんをかけて。スペアリブの梅味スープ煮はとてはやわらかくさっぱりと。茄子とタコの炒め物は、ピリッとスパイシーに。大根と油揚げのサラダは食感が絶妙でした。早速家族にも作りましたが大好評でした。



みなさんもぜひ新しいレパートリーを増やしてみませんか。お申込みは同窓会事務局まで。お電話かメールでお問い合わせください。(10:00~13:00)

## コーラス

私達は月二〜三回金曜日の午前中に練習しています。ある時は昔懐かしい曲や、今流行っている曲を楽しく歌い、またある時は若い作曲家が作ったリズムの難しい曲に挑戦しています。練習後のおしゃべり、「食事会」「レク」も楽しいですよ。歌の好きな方一緒に歌いませんか。

連絡先 石橋秀子(九期井上)

TEL 082(264)3693

## 英語を楽しむ会

先輩後輩入り混じっての和気藹々とした文字通り英語を楽しむ会です。と言ってもついつい日本語が出てしまいます。講師は十一期の三浦智世子さんです。まず WHAT'S NEW? の英語での近況報告。貴重な情報交換の場です。次は READING や広島をガイドする教材を使います。月二回の楽しい二時間。英語で TALK にトライ! ご参加お待ちしています。



於 市民交流プラザ(袋町) 第一、三水曜日十三時半  
連絡先坂尾 TEL 082(283)6486

## 山登り

昨年十月、西日本最高峰の石鎚山(一九八二m)に五人で登頂。紅葉真っ盛り、多くの方に感謝。

本年は三段峡の紅葉と神社のお祭りの夜神楽を観賞します。



十一月二・三日です。ご希望の方は、十月二十七日頃までに、ご連絡をお願いいたします。

連絡先 石川真智子先生

TEL 082(622)7116  
E-mail: himantopus7116@ybh.ne.jp



## 後輩二ユース

- クラシックギター部
- ・全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクール
- 古典文学研究部
- ・全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会
- ・中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会優勝
- 高校合唱部
- ・全国高等学校総合文化祭二〇一五滋賀びわこ大会合唱部門
- ・NHK合唱コンクール中国ブロックコンクール銅賞
- 高校文芸部
- ・全国高等学校総合文化祭二〇一五滋賀びわこ大会文芸部門
- 高校筆曲部
- ・全国高等学校総合文化祭二〇一五滋賀びわこ大会日本音楽部門
- 高校囲碁部
- ・全国高等学校総合文化祭二〇一五滋賀びわこ大会囲碁部門
- ・文部科学大臣杯全国囲碁選手権大会

\*地図や文芸作品、読書感想文等も全国へ出品されています

なお、ND清心ホームページでは、「今日の清心」というコーナーで、随時在校生・卒業生の活躍を更新しております。

http://www.hiro-seishin.ed.jp  
をどうぞご覧ください。



# 同期会だより

## 一期同期会

一期 古田信子(覆並)

二〇一五年十一月十一日、広島のリীগロイヤルホテルにて一期同期会を開催いたしました。

今年には同窓会が六十周年を迎え、また、私たちは喜寿を迎えた記念すべき年です。この日、北海道をはじめ、遠方からの参加も多く、三十六名の方が集いました。

最初に記念撮影を済ませ、はじめの挨拶と乾杯の音頭でスタート。しばらくは談笑しながらの食事を楽しみました。その後、シャンソン「生きる」の歌声に大感激、俳句を披露してくださる方もいました。短い時間でしたが、若さに溢れていた時代の「気」が甦ったような生き生きとした時間でした。久しぶりにお会いできたということが嬉しかった、懐かしかった、楽しかったと大きな力になりました。

私たちの年代になると、体調不良を訴える方や家族の介護で外部活動が難しい方も多く、今後の会運営をどうすべきかについて皆さんに意見を伺いました。その結果、今まで通りさせていただきますこととなり、「次期役員はぜひやらせてほしい」と三名の方が名乗り出てくださり、助け合っていくことの尊さ

を感じました。そして、清心中、高等学校のますますの発展を祈念しつつお開きといたしました。肉体年齢は衰えても精神年齢はなでしこ魂の強さを發揮し、明るさとやさしさと力強さをもってゆきましょう。



## 二期同期会

二期 山元洋子(奥)

二〇一五年六月十日、二期会を奈良で開催いたしました。奈良での開催は初めてで、これまで広島は当然として、東京、京都、神戸、岡山などで開催していました。今回は私たちの大部分が七十七歳の喜寿になりますので、中学の修学旅行の思い出の地で開き、これで二期会はお開きにしようとな本部から申し出があったようです。

出席者数は、日帰り組が四名、宿泊組が二〇名で、ロイヤルホテルに泊まりました。現地での経費は、一泊三食にビール少々で二万円。奈良としてはかなりの頑張りです。出席者の確定は当日までかかりました。自分や家族の健康問題など理由は様々ありましたが、ともかく来祭した人たちは無事、事故も迷子もなく、元気に楽しい時を過ごしました。

当初、今回が最後という話でしたが、本部の方から、今回で打ち切りではなく、次は傘寿に再び二期会を開催しようと提案があり、一瞬たじろぎましたが、これは今回の二期会が成功したというお褒めの言葉ではないかと接待委員一同で解釈し、達成感に浸りました。何と云っても、声をかけたらすぐに協力してくれる同期の友情と結束力に感動です。



## 古希記念同期会

九期 石橋秀子(井上)

私たち九期は卒業後毎年同期会を重ねており、今回五十一回目「古希祝い」の名目で初めての海外同期会を企画しました。

幹事の独断で目的地をカナダに決め、ナイアガラ瀑布、プリンス・エドワード島、ロレンシャン高原を巡る旅としました。ところが、どの旅行会社のツアーにも私たちが希望するプランがなかったため、添乗員なしで飛行機とホテルの予約、観光地でのガイドと送迎バスを手配しました。様々な問題をクリアした十名が参加してくれることになりました。

出発の前日は悪天候だったため、航空会社に変更してもらい、早い飛行機に変更してもらい、なんとか無事に羽田に着き、他方面からのメンバーと落ち合うことができました。

一日目は、羽田からトロントに飛び、空港からナイアガラのホテルへ。夕食時、レストランへ行くとなんとライトアップされた滝が見え、その美しさに最初の感動を覚えました。翌日は一日観光。用意されたビニールを身にまとい、襲い掛かる水飛沫を全身に浴びながらのクルーズでは自然の雄大さを実感しました。

次の訪問地はプリンス・エドワード島のシャーロットタウンでした。さすがアンが「ここは

世界一美しいところよ。」と言っただけのことはあり、青く澄み渡った空、キラキラ輝く川、緑の森などを目にし、まるでアンが横道から飛び出てきそうな錯覚を覚えました。

最後の宿泊地はモントリオール。郊外のロレンシャン高原への一日観光です。ゴンドラで山頂へ登り、きれいに彩られた山を楽しく散策しました。また、急遽オブションで参加した湖水のクルージングでは、山からは見られなかった黄色、オレンジ、赤、緑等の混在した紅葉が眼前に現れ、大いに満足でした。モントリオールでは予定していなかったノートルダム大聖堂を訪れ、その荘厳な佇まいに身を置くことができました。

今振り返ってみると、初めての海外同期会をしようというところで、一年近く前から全く手探りの状態で準備を始めたものの次々と難問が出てきて、これは





実現できるのだろうかと不安にかられたものでした。旅行中は、荷物の積み忘れや、飛行機に乗り遅れそうになるなどハプニングもありましたが、全員が無事に我が家にたどり着けたことがなにより嬉しいことでした。

## 十一期同期会

十一期 森下信子(熊谷)

平成二十七年六月七日、十一期同期会を行いました。

気付いてみれば卒業して早五十年。亡くなられた方も同期生の一割になっていことが分かり、動ける時に出来るだけ気軽に会いましょう、ということになり、二十五年に続いての同期会となりました。場所はどこからでもアクセスの良い広島駅前のデパート。当日は東京や福岡から、また卒業以来の方も含めて十八名が集まりました。

持参した卒業アルバムや中高時代の写真、東京でのプチ同期会の写真、皆さんの返信から近況をプリントしたもの等を囲みながら、出席者の近況報告も続き、昔と今が楽しく交錯しました。

五十年も経てば活動の場も時と場所が違って当たり前。皆さんにエールを送り、エールをいただいた時間でした。その後二次会、三次会と話が尽きず、清心で共に過ごした根っ子の部分を再確認したことでした。

次回は古稀になるでしょうか。幹事さんもスムーズに決まりました。年相応の老いも受け

入れつつ、足腰、気力を鍛え、またお会いする日を楽しみにしています。



## 十九期同期会

十九期 川市利江(永安)

二〇一五年十一月二十二日、十九期二十名を乗せた、もみじマークのバスが広島を出発、新神戸駅で関東関西組と合流、計三十六名の還暦旅行の始まりです。

神戸ビーフのランチの後、明石海峡大橋を渡りました。途中で大観覧車にも乗りました。バスの中ではおしゃべりに夢中で橋を渡ったことに気づかない人もいたとか。とにかくおしゃべりがしたいとの希望で、観光を一部カットし、ホテルへ直行しました。

「海辺の湯めぐり」を楽しんだ後、夕食時には全員の近況報告です。みんなに会いたいからと、この時点でかけつけた人もいました。三十六人の四十二年間、仕事、結婚、家庭、病気、介護、孫、様々な話を聞きました。夕食後も二間続きの部屋に全員が集まり、遅くまで話は尽きませんでした。

翌日はうず潮と大塚国際美術館を見学し、神戸で解散。楽しい二日間はあっという間に終わりました。

広島幹事グループ、東京の世話人、皆さんのおかげで楽しい旅行が実現できました。ただただ感謝しています。

昨年は高ⅢC組の担任だった樋口賀子先生の計報もありました。一足先に旅立った同級生もいます。皆さん、きつと見守ってくださいありがとうございます。

私たち十九期は皆、元気で仲良しです！



## 五十期同期会

五十期 前田苑美

平成二十六年十二月三十日、市内のホテルで五十期同期会を開催しました。

このたびは、卒業十周年記念ということで、卒業した年に担任をしていたいた北野先生、上田先生、唐立先生にもご出席いただきました。どの先生方もお変わりなく、壇上でお話しされるお姿を拝見して、先生方の授業を受けた当時のことが懐かしく思い出されました。

参加した卒業生は六十名余り。顔を合わせるのが卒業式以来となる人もいて、思い出話に花が咲きます。残念ながら不参加だった方々の近況については、事前に届けられた写真やメッセージがスライド上映されました。会の終盤には、高校三年生のときに未来の自分や友人へ宛てて書いた手紙が返却されました。当時の自分を振り返って気恥ずかしさを覚える一方、友人からの十年越しのメッセージに心を躍らせ、終始和やかな雰囲気の中でお開きとなりました。

最後になりましたが、忙しい時期にも関わらず駆けつけてくださった先生方、卒業十周年記念同期会の開催に当たってご支援いただいた同窓会の皆様、そしてこのような素晴らしい会を企画していただいた幹事の方々に、心から御礼申し上げます。

す。またいつか皆様と再会できる日を楽しみにしています。



## 同期会リスト

開催日	期	場 所
2014/12/30	50	ホテルグランヴィア広島
2015/6/7	11	演 登 久
2015/6/9~10	2	奈良ロイヤルホテル
2015/11/11	1	リーガロイヤルホテル広島
2015/11/23~24	19	淡 路 島

※同期会には1万円の補助費が出ます。条件がありますので、詳しくは同窓会事務局までご連絡ください。

同窓会事務局 TEL.082-271-1724(月～金曜日 10時から13時まで)





42期 片瀬実以子(津村)

早いもので清心、そして大学を卒業して、約十五年製薬会社で働いています。入社したのは北陸製薬でしたが、合併・分社で現在はアッヴィ合同会社で

す。製薬会社は営利企業ではありませんが、薬は使い方を間違えると患者さんの命に関わるものです。私が働く医学統括本部では、「エビデンスの構築及び科学的情報の提供による患者ベネフィットの最大化」をビジョンに使用情報の伝達を行っています。女性であることで仕事上の不利はありませんが、育児が入ってくるとまだまだ女性側に負担が多い社会であることを感じ

ました。会社では昨年ダイバーシティ&インクルージョン委員会が立ち上がり、私もその一員としていろんな多様性を持った人たちが働きやすい会社になるように取り組みを始めています。二人の娘を抱え、忙しい毎日ではありますが、夫はもとより、近所の友人達にも助けられながら、働き続けられる環境があり、人に支えられながら生きていることを実感しています。

## なでしこ通信

## 編集後記

三年間にわたる編集委員、ずっと他の委員の皆様にも助けられての活動でした。編集作業を進めるなかで、職場とはまた違う、清心というつながりを実感しました。清心は私たち同窓生に何を与えてくれ、つながり続けていくのだろうか、そんな思いから今回の特集テーマとなりました。

会報を発行するにあたって、取材や原稿依頼に快く応じていただいた皆様に心より感謝いたします。

(四十期 畑)

同窓生の皆様へ

## 同窓会総会のご案内

ノートルダム清心中・高等学校同窓会  
会長 岩崎 恵子

新緑の候、同窓生の皆様には、各方面にて、益々ご健勝のことと存じます。

さて、平成28年度同窓会総会を下記のとおり開催いたします。懐かしい先生方、同級生と久しぶりに顔を合わせて、楽しいひとときをお過ごしください。

お友達同士、お誘いあわせの上、多数のご参加をお待ちしております。

## 記

日時： 平成28年7月31日(日) AM11:00~PM2:00

場所： ANA クラウンプラザホテル広島  
(旧全日空ホテル)

広島市中区中町 7-20 TEL082-241-1111

会費： 5000 円(当日会場受付にてお支払ください)  
学生は半額(2500 円)です。

◎第一部 総 会

◎第二部 コンサート

☆同窓会コーラス

◎第三部 恩師を囲んでの歓談(昼食)

準備の都合上、出欠を同封のハガキにて7月1日(水)必着でお知らせください。なお、7月16日(土)以降の出席の取消については会費を徴収させていただきますのでご了承ください。

今年度総会の幹事は39期、49期です。

連絡先 同窓会 082-271-1724(月~金 10時~13時)

39期 北野 090-8606-2810 福長 090-6410-7770

## お知らせ

◇同窓会へのご質問、連絡は

E-mail: dousoukai@hiro-seishin.ed.jp

TEL: 082-271-1724(月~金曜日 10時~13時)

◇こちらをご覧ください

ND 清心中・高等学校ホームページ

http://www.hiro-seishin.ed.jp

## 同窓会会報

## 第50号編集委員

四十期  
編集長

畑 志摩

大迫 志穂

野田 華奈子

尾山 康恵

能宗 舞

小嶋 由佳里

南崎 朋子

河村 歩

水入 真美子

片瀬 実以子

児玉 美美

上野 三奈

(内藤)

四十二期

河村 歩

水入 真美子

片瀬 実以子

児玉 美美

上野 三奈

(内藤)